

会議事項

- ① 高齢者救急搬送の現状と課題
- ② 紹介受診重点医療機関について
- ③ 地域包括医療病棟について
 - 急性期一般入院料1（7対1）維持への対策と課題
- ④ 医師の働き方改革について

2023年度 平均在院日数および重症度,医療・看護必要度の実績

1. 平均在院日数

基準：16日

4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月
15.8	15.3	15.2	15.6	15.6	15.5	15.3	15.8	15.7	15.7

全てクリア

2. 重症度,医療・看護必要度

A2C1割合 基準：27%

4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月
27.6%	27.1%	27.3%	27.3%	27.7%	27.6%	28.3%	27.9%	27.8%	26.9%

ほぼクリア

A3C1割合 基準：20%

4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月
18.9%	18.4%	19.1%	18.6%	18.8%	18.2%	19.4%	19.6%	19.9%	18.7%

全て未達

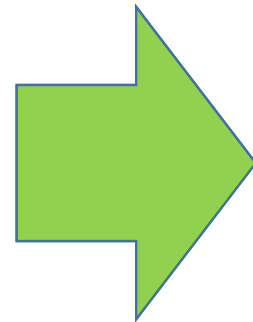


現状のままでは、全病棟が10対1の急性期病棟に転落する！！

現状

7対1急性期病棟

HCU
西4
西5
西6
西7
西8
南7



10月以降

10対1急性期病棟

HCU
西4
西5
西6
西7
西8
南7

- ・年間約3,000万円の減収
- ・看護師の雇用維持が困難

考え得る解決策

プランA
7対1死守

7対1 急性期病棟

HCU

西4

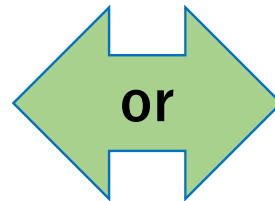
西5

西6

西7

西8

南7



プランB
10月以降

7対1 急性期病棟



10対1 地域包括医療病棟

7対1維持に向けて,できること

1. 現在の運用の変更による改善

HCUを機能強化し,ICUからの患者さんを積極的に受入れる

⇒従来のHCUをER・HCUとし,ICUとの連携強化をはかるため
救急・集中治療センターとしてセンター化

2. 必要度の高い新規入院患者を増やす

救急車の積極的受入れ.手術等の増加

3. 評価項目の算定方法の見直し

全科への勉強会開催.入力事項の総点検

成果（中間報告）

7対1の維持に必要な基準値を全てクリア！

1. 平均在院日数

基準：16日

2023年 4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月	2-4月	3-5月	2024年 4-6月	5-7月 速報値
15.8	15.3	15.2	15.6	15.6	15.5	15.3	15.8	15.7	15.7	14.8	14.5	14.1	14.0

2. 重症度,医療・看護必要度

A2C1割合

基準：27%

2023年 4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月	2-4月	3-5月	2024年 4-6月	5-7月 速報値
27.6%	27.1%	27.3%	27.3%	27.7%	27.6%	28.3%	27.9%	27.8%	26.9%	27.7%	27.5%	28.2%	28.5%

A3C1割合

基準：20%

2023年 4-6月	5-7月	6-8月	7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	11-1月	12-2月	1-3月	2-4月	3-5月	2024年 4-6月	5-7月 速報値
18.9%	18.4%	19.1%	18.6%	18.8%	18.2%	19.4%	19.6%	19.9%	18.7%	19.1%	19.4%	20.5%	20.6%

ただし、基準値は継続的にクリアすることが必要
いつ満たせなくなるかギリギリの状況

しかし・・・

平均在院日数の短縮(昨年度に比べ約**1.5日**短縮)
により7対1病棟の**空床が1,568.5床**(4～6月実績)
増加し、経営的には大変厳しく・・・

4～6月で前年より約9,000万円収支が悪化
この空床が大きな要因

ですが、
昨年度ベッド満床により
お断りせざるを得なかった
救急車の受入れが可能となった…